

学びのデザインシート

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【外国語／コミュニケーション英語Ⅱ】

1. 対象 ○○高等学校 普通科 ○○HRの生徒

授業にまじめに取り組み、自分の考えや意見を英語で伝えようとする姿が見られる。

2. 単元名

Genius English CommunicationⅡ Revised (大修館書店)

「Lesson 6 Machu Picchu: City in the Clouds」(全16時間)

3. 単元目標

- ・マチュピチュがどのように発見され、学者の研究目的は何であったのか、どのように議論されてきたか、また、世界遺産に登録されたことによってどのような変化が生じたのかについて読み取る。
- ・世界遺産マチュピチュの歴史と現在の姿に関する話の要点や、世界遺産に指定されたことについて得られた恩恵と問題点について話し合い、お互いの意見を聞き取る。
- ・読んだり、聞いたりした情報を元に、世界遺産の指定に対する自分の考えを話したり書いたりすることができる。

4. 本時の目標

- ・世界遺産に指定されることによって得られる恩恵と、一方で生じる問題についての事例に触れ、世界遺産に指定されることについて自分の考えをまとめ、述べることができる。

5. 授業展開

解決したい課題や問い

Is it good to be designated as a World Heritage Site?

(世界遺産に登録されることは良いことなのか。)

考えるための材料A	考えるための材料B
世界遺産に指定されたマチュピチュについて書かれた英文と音声。(教科書)	世界遺産に登録されることのメリットとデメリットについて書かれた英文。
想定される活動	想定される活動。
<ul style="list-style-type: none">・マチュピチュについての英文を聞いて、マチュピチュが世界遺産に指定されたことによる影響と、その結果どのようなことになっているのか(恩恵と問題点)について聞き取る。・英文を読んで確認する。	<ul style="list-style-type: none">・日本でも世界遺産に指定されることを推進しているが、一部の場所では、世界遺産に登録された後、どのような課題が生じているのか。その影響について読み取る。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- (活動1) 世界遺産に登録されることについての意見を述べる。
- (活動2) 英文を聞いて、マチュピチュが世界遺産に登録されてからどのようなことが起こったかを聞き取り、英文を読んで確認する。(材料A)
- (活動3) 全体で、マチュピチュの世界遺産登録後に何が起こったかを確認する。
- (活動4) 各グループで、世界遺産に登録されること、登録された後のことについて書かれた英文(材料B)を分担して読み、自分の担当部分を理解する。
- (活動5) 各グループで、各自が担当した資料の内容を報告しあい、世界遺産に登録されることの良い点と悪い点を複数の視点から理解する。これをふまえてグループで議論をする。
- (活動6) 各グループで出た意見を発表、全体で共有する。
- (活動7) 改めて世界遺産に登録されることについてどう思うか、自分の考えを書く。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- I think it is good to be designated as a World Heritage Site because a lot of people visit it and people living around the site can earn more money.
- I don't think it is good to be designated as a World Heritage Site because some sites are not protected. As a lot of people visit the sites, they have to build lots of facilities, such as roads and hotels. When we make traffic systems better, some nature is destroyed.
 - We are now talking about this topic from different points of views. One is from the business view, and another is from the view of protection of the site. I can't judge which view is best.
 - Though I think it is good to be designated as a World Heritage Site, it is not good for the site to be used just for tourism.

育成すべき資質・能力三つの柱から上記のあらわれを評価するための視点

①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">• 世界遺産登録について書かれた英文を読み、内容を理解することができている。• 世界遺産登録や、その場所で起こっていることについての自分の意見を相手に伝わるように表現することができている。• 世界遺産登録や、その場所で起こっていることについての相手の意見を聞いて、内容を理解することができている。
②思考力、判断力、表現力	<ul style="list-style-type: none">• 与えられた材料の内容をもとに、世界遺産に指定された場所について問題点を推察し、自分の考えとして伝えることができている。• 世界遺産に指定されることについて（場合によっては指定されようとしていることについて）、自分の考えを持ち、説明することができている。
③主体性・学びに向かう力 協働性など	<ul style="list-style-type: none">• 世界遺産に指定されることについて、賛否両論ある中で、自分自身の考えとして賛成か反対かを考えることができる。• どういう立場、視点から賛成、反対を考えたかを振り返り、違う立場であったなら自分の意見はどうなるのかを考えることができる。

授業実践振り返りシート（授業前後）

授業開始直後と授業終了時の学習課題に対する考え（あらわれ）を比較・分析することで、生徒の学習状況を把握し、授業設計診断4項目の視点に立って授業設計を見直す。

	授業開始直後の学習課題に対する考え	授業終了時の学習課題に対する考え
Aさん	I think it is good to be designated as a World Heritage Site because the site is known to many people it can be conserved.	It is not good to be designated as a World Heritage Site because there are people who live there before the site becomes a World Heritage Site. Their life is more important than being a World Heritage Site. The environment of the site should be preserved.
Bさん	I think it is good to be designated as a World Heritage Site because it brings economic benefit.	I think being designated as a World Heritage Site is good from the view point of economy, but it is also bad from the viewpoint of preservation of the site. However, the purpose of the World Heritage Program is to protect and preserve the site. So it is important to attract people's attention to preserve the site and the Program helps attract it.
Cさん	I think it is an honor to be designated as a World Heritage Site. But I don't think it is good because more and more tourists come to the site and the amount of trash is increasing.	I think it is not always good to designated as a World Heritage Site. It has both advantages and disadvantages. The number of tourists is increasing. It causes traffic jams and environmental destruction. However, at the same time, the income for the city or town is increasing. It can be spent to solve the problems that has been brought there since it became a World Heritage Site.

授業設計の振り返り	
解決したい 課題や問い	<ul style="list-style-type: none"> 「世界遺産に登録されることは良いことなのか」は課題の範囲が広すぎる。どういう視点で良い、悪いを判断するのかわかりづらい。 身近に世界遺産があるので、課題としては考えやすかった。 実生活にも結びついて、新たな課題へつながる可能性を持っている。
考えるための材料	<ul style="list-style-type: none"> 文字と写真だけであったが、英語の授業ということを考えると、動画や音声も用いて、リスニングの要素を含んだ材料があっても良かったのではないかな。 世界遺産の写真や説明の文章だけでなく、統計資料等があっても良かったのではないかな。 写真については、内容に意図的（考えを誘導する）な配列があったように感じる。
対話と思考	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が対話をし、考える時間が十分ではなかった。手順が多く、一つひとつも時間がかかった。 指示が明確ではなく、何を話をすのかが伝わっていない生徒もいた。 全体での発表時間があると、さらに考えが深まったのではないかな。また、英語の活用についての指導ができたのではないかな。
学習の成果	<ul style="list-style-type: none"> 最初と意見が変わった生徒もいるし、変わってなくても、理由がより具体的になっていたり、どういう立場で考えているのかが明確になっていた。良い、悪いと言い切れない、立場によって変わる可能性がある、としたうえで、大切なことはその環境を守ることとした生徒もいた。 英語という言語の活用という点では、本時の授業はもの足りなかった。練習不足。

出典：